

## 賛否拮抗 最終盤、勝利へ近畿から一層の支援を

- 今すぐ大阪市の有権者に、電話やネットも使い大阪市廃止「反対」の投票を働き掛けて下さい。
- 大阪市にはせ参じ、宣伝・対話活動などに参加して下さい。
- 「大阪市をなくすな」一投票日も含めSNS 毎日拡散作戦に参加して下さい。
- 維新の「物量作戦」に勝ち抜くため、テレビコマーシャルなど最終盤の宣伝を支える緊急募金に協力して下さい。

### 【支援先と支援募金の送り先】

○日本共産党大阪府委員会 〒545-0001 大阪市阿倍野区天王寺町北2の5の19

☎06(6770)5044 fax06(6770)5047

○募金は次の口座に郵便振替でお願いします。00920-8-97104 加入者=日本共産党大阪府委員会

※通信欄に住所、氏名、職業および「住民投票募金」または、「大阪支援」と明記して下さい。送金手数料はご負担をお願いします。

## 「政令市をなぜ(村以下の)特別区にダウン」府医師会ニュースが疑問符

大阪府医師会の「府医ニュース」(10月21日号)に以下のコラム(「拡大鏡」)が掲載。「都」構想に疑問を呈しています。

- ◆大阪市を廃止し特別区に再編する、いわゆる「都構想」の是非を巡る2度目の住民投票が11月1日に行われる。5年前の投票で「大阪市の存続」が決まったにもかかわらず、だ。
- ◆「何故、コロナ禍のさなかに住民投票をするのか?」「勝つまでジャンケンするつもりか?」といった市民の疑念は至極妥当なもの。
- ◆財政難の中、住民投票は数十億円のコストを要する上、コロナ禍の対応に役所は忙殺されている。
- ◆「政令指定都市を何故、(村以下の)特別区にダウングレードしなければならないのか?」「都構想のデメリットは?」との基本的問いにも「二重行政の解消」「デメリットは皆無」といった空語のみが繰り返される。
- ◆開催された住民説明会はわずかに8回(前回39回)、224万人の有権者のうちの3千人を対象にしたに過ぎず、大阪市民の疑念は払拭されないまま、10月12日に告示日を迎えた。
- ◆「大阪市が廃止された場合、医療介護は非常に厳しいものになるのでは?」というのが市井の医師達の偽らざる思いである。(猫)

「絶対負けられない」奮闘広がる

○ラスト1週間 支援もさらに、地元も奮闘 京都・中丹地区、東山区から4人、大東市からの支援も含め事務所は10時前からごった返しました。ハンドマイク宣伝2隊、宣伝カー1隊、区役所前宣伝1隊、ピラマキ3隊で行動開始。支部からは「午後から集金も兼ねて歩くよ」という報告も入ってきました。区役所前宣伝、維新はおらず、名刺カードを30枚手渡しました。「反対」というおじさんは「大きい市の土地を大手に売却している。維新は悪いことばかりしている」と話していました。(東成区事務所ニュースから)

○「二度と戻れない。居ても立っても」と宣伝に参加 港区夕凧にお住まいの市民から「知り合いに広げて」の5枚セットを受け取り、連絡先の民商に「何か手伝いたい」と電話がありました。25日、民商の皆さんと宣伝行動に参加。「長年、自治体職場に勤めていた。地方自治体の役割は市民の生活を守るためにある。政令市が特別区に格下げなんて言語道断。二度と戻れない。居ても立ってもおられないので行動に参加した」と話していました。(西・港・浪速地区のニュースから)

### 20近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 60(2020.10.27)